

# 会 議 録

## 1 会議名

平成28年度第5回三郷区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

- (1) 平成28年度地域活動支援事業の完了について（公開）
- (2) 自主的審議事項「三郷区における高齢者支援の取組について」（公開）
- (3) 地域協議会及び地域活動支援事業にかかる課題と改善策について（公開）
- (4) 地域活動支援事業募集要項及び審査採択の基本的なルールについて（公開）

## 3 開催日時

平成28年10月28日（金）午後6時50分から午後8時18分まで

## 4 開催場所

三郷地区公民館 集会室

## 5 傍聴人の数

0人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員：山口典夫（会長）、保坂裕子（副会長）、池内幸雄、伊藤善一、尾崎祐三、加藤与三郎、佐藤 功、二野 浩、保坂真由美、山田宏文、横尾彰平
- ・事務局：南部まちづくりセンター 佐藤センター長、榎島係長、小林主事

## 8 発言の内容（要旨）

### 【小林主事】

- ・竹内副会長を除く11名の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・同条例第8条第1項の規定により、議長は山口会長が務めることを報告

### 【山口会長】

- ・会議の開会を宣言
- ・会議録の確認：池内委員、横尾委員に依頼  
次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

### 【佐藤センター長】

資料により説明。

【山口会長】

質疑を求めるがなし。

—次第3報告（1）平成28年度地域活動支援事業の完了について—

【山口会長】

次第3報告（1）「平成28年度地域活動支援事業の完了について」、事務局に説明を求める。

【佐藤センター長】

資料No.1により説明。

【山口会長】

質疑を求めるがなし。

—次第4議題（1）自主的審議事項「三郷区における高齢者支援の取組について」—

【山口会長】

次第4議題（1）自主的審議事項「三郷区における高齢者支援の取組について」に入る。

三郷区における高齢者支援の取組については、昨年度から地域協議会で議論が行われていたが、正式に自主的審議事項として取り上げていなかった。先日開催した委員研修会により、「地域支え合い事業」への関心が高まり、取組に向けての機運が高まっていることから、正式に自主的審議事項として取り上げたいと考えている。

それに先立ち、事務局へ自主的審議事項について説明を求める。

【小林主事】

資料No.3、4により説明。

【山口会長】

ただ今の事務局の説明のとおり、「地域支え合い事業」を自主的審議事項とするには、提案書が必要となるため、資料No.2のとおり提案書の案を用意した。

資料No.2により説明。

質疑を求めるがなし。

提案書を提出してよいか委員に諮り、全員の了承を得たことから、提案書をセンター長へ提出する。

**【佐藤センター長】**

受理した。

**【山口会長】**

提案のあった「三郷区における高齢者支援の取組について」、自主的審議事項とすることでよいか委員に諮り、全員の了承を得る。

続いて、先日の委員研修会のふりかえりと、今後の取組について意見交換を行う。事務局に説明を求める。

**【小林主事】**

資料No.5により説明。

**【山口会長】**

皆さんの意見をもとに、今後どのように進めていくべきか、意見交換を行う。

私の感想としては、諏訪の里づくり協議会は、非常にコンパクトにやっていると思う。今後、委員の意見を聞く中で具体的な青写真が出てくる場合もあるだろうし、いろいろな方と話をした中で課題も見つかると思う。11月4日に予定している町内会長との意見交換会の中で、具体的な方向性が見えるだろうと思っている。

**【横尾委員】**

「地域支え合い事業」を受託するとなれば、まず組織を作らなければいけない。その前に、それを検討する準備委員会や検討委員会のような組織を立ち上げるのだけれど、その組織にはいろいろな考えを持っている方に幅広く参加してもらうのがよい。

受託する組織の人選をどうするかという課題も別にある。町内会長連絡協議会に全て預けるのではなく、あくまでも主導的な役割を担ってもらうのがよい。今後、検討委員会や準備委員会にどういうメンバーが参加すべきかを、地域協議会で検討すればよい。

**【山田委員】**

横尾委員と同じ意見である。アンケートにも書いたが、各団体の方が集まり、皆で検討し合って、それから組織を立ち上げるのがよい。

**【山口会長】**

諏訪の里づくり協議会のような組織を作るということか。

**【山田委員】**

そのとおり。

**【保坂真由美委員】**

諏訪区の事例は、母体があったからこそできるものだと感じている。三郷区は各団体が個々に活動しているため、横尾委員や山田委員の意見のとおり、各団体の方を集め、話を聞いてみるのがよいと思う。

**【山口会長】**

自主的審議事項においても、当然それもひとつのテーマになると思う。

**【二野委員】**

第4回の協議会では、JAが行っているサロンを地域に委託するという話を聞いた。そして先日の委員研修会では、諏訪区の実例を聞き、全体的な組織を作りひとつにまとめているとのことだった。

それが本当によいのかというのもあるが、組織を作る場合、誰かを頭に置き、あとは三郷区の各団体を集めればよいと思う。それは簡単にできると思うが、まずは各団体の方を集めて意見を聞く場を設け、その上でどうやっていくか考えるべきである。

**【山口会長】**

自主的審議事項の提案書の「今後の見通し」の中で、「地域住民や関係者との意見交換」を記載している。今後、そのような場を設けるのは避けて通れないと思う。

**【佐藤委員】**

ひとつの大きな組織を作るとなると、地域協議会だけで話し合うのではなく、まず区内にいる様々な方と話をすべきである。話をすれば、いろいろな意見が出てくる。それをやらないと、問題はなかなか見えてこない。

**【加藤委員】**

組織を作る場合、地域協議会が主になるのではなく、町内会長連絡協議会が主となり、権限を与え、まとめる方がやりやすいと思われる。どちらもとなると、「私は別にいい」と無責任になってしまう。協議には両方が参加すべきだが、権限はどちらかに持たせた方がよいと思う。

**【尾崎委員】**

諏訪区との大きな違いは、母体となる組織があるかだと思う。最終的には三郷区においても高齢者支援をしていくなかで、どう進めていくかが課題だと思う。

11月4日に町内会長連絡協議会との話し合いがある。そこで結論が出るわけではないが、町内会長は12月に変わるため、そうなれば違う意見が出てくるとと思われる。地域協議会委員は変わらないため、地域協議会が主にならざるを得ないと思う。各団体と

話をする前に、地域協議会と三郷地区町内会長連絡協議会とで話をきちんと詰めるべきである。

#### 【伊藤委員】

三郷区は団体が個々に活動しており、それをまとめる母体となる組織がない。「地域支え合い事業」を受託するには、まず全体の組織を作り、下におろしていくという道筋をつけないと、なかなか進まないと思う。その辺をうまくできればと思っている。

#### 【池内委員】

是非、子育てをして働いている、税金を払っている方の意見を入れてほしい。高齢者が高齢者の支援について話をしてもしょうがないと思う。次の世代の方たちの意見を是非入れていただきたいと思う。

#### 【保坂副会長】

三郷には三郷の良さがあるってここまで来られたため、本当にこういうかたちでいいのかという確認も含めて、いろいろな団体や組織の代表の方と、三郷の今後5年、10年、20年先をどうしていきたいのか、皆でこの地域をどう育てていきたいのかを確認するためにも話し合いを持つべきだと思う。

地域協議会は決定権がないため、町内会長連絡協議会でリードを取るのが筋だと思う。12月に任期が切れる町内会長もいるが、大多数は残る。また、全体をリードする方もいるため、趣旨を引き継ぐことは可能だと思う。時間は必要だが、積極的に濃い意見を伺いたいと思う。

#### 【山口会長】

皆さんの意見を聞くと、11月4日の町内会長連絡協議会との意見交換会を踏まえた中で検討する、というのがほとんどだったと思う。12月に町内会長が変わるのは当然承知している。どのようになるか私も想像がつかないが、そういったものを踏まえた中で、今後、三郷地区振興会的なものを立ち上げる準備委員会などを作り、委員からも人選して加わることができればよいと個人的に思っている。

町内会長と地域協議会委員が全員で話しても、いろいろな意見が出てまとまらないため、ある程度絞った中で話し、それを地域協議会や町内会長連絡協議会の中でも話し合い、どうするか決めるのがよい。その後、次世代を担う「ENJOY35」など、各団体と意見交換をしなくてはいけないと思っている。それは、11月4日に各町内会長の意見を聞いた中で、地域協議会としてはどうすべきか、次回の協議会の中で話ができればと思っている。

—次第4議題（2）地域協議会及び地域活動支援事業にかかる課題と改善策について—

【山口会長】

次第4議題（2）「地域協議会及び地域活動支援事業にかかる課題と改善策について」、事務局に説明を求める。

【小林主事】

先日、各委員に、地域協議会会長会議に諮る地域協議会や地域活動支援事業に関する議題について意見を求めたが、意見がなかったため、三郷区は意見なしでよいか諮りたい。

【山口会長】

事務局説明のとおり、意見の提出がなかったことから、意見なしとしてよいか諮り、委員全員の了承を得る。

地域協議会会長会議は11月7日に予定しており、結果については次回の協議会で話ができればしたいと思う。

—次第4議題（3）地域活動支援事業募集要項及び審査採択の基本的なルールについて—

【山口会長】

次第4議題（3）「地域活動支援事業募集要項及び審査採択の基本的なルールについて」、事務局に説明を求める。

【小林主事】

資料No.6により説明。

【山口会長】

事務局の説明のとおり、今回は募集要項に関する意見について協議したい。挙げた意見について、平成29年度の募集要項の改正案に反映するかを協議する。上から順に協議し、採決しようと思う。

①No.1の意見について、質疑を求める。

【池内委員】

先ほど完了報告のあった「さんごう防災DAY事業」では、ご飯を食べたりジュースを飲んだりしている。税金を使って実施するのであれば、最低限の自己負担を入れるべ

きではないかと思ったため、提案した。

**【山口会長】**

募集要項の中にそれを書けるのか。

**【池内委員】**

納税者としては、どうなのかと思っている。少額でも自己負担を入れるべきである。

**【尾崎委員】**

募集要項の「支援内容」には、「会議時のお茶代、菓子代」は対象外だが、「作業に参加した人へのお茶代」等は対象とすると書かれている。個人負担については書いていないが、池内委員の意見も分からなくはない。

特に今年の事業内容をそれぞれ見ていると、個人負担があった方がいい部分もある。この辺の書き方をもう少し変えられないか。どこまでを会議のお茶代、菓子代に含めるのかなどは、事業内容によっても捉え方が微妙なところもあるため、これ以上書き方がないとも思う。

**【保坂副会長】**

「さんごう防災DAY事業」の飲食は、非常食を食べることが目的のひとつでもある。ただの食事とは違うと思う。

ただ、私も審査の際に参加者負担はないのか質問しているため、池内委員の意見も分からなくはないが、募集要項に入れるのは難しいと思う。「支援内容」に書いてあるものである程度理解できると思うが、どうだろうか。

**【池内委員】**

資料No.1の事業結果概要書には、「スタッフ飲料」として「ペットボトル飲料50本(2日分)」と書いてあるが、こんなものまで税金で負担するのかわかった。

**【山口会長】**

基本的なことになるが、募集要項は区内全世帯に配布するものであり、これに基づいて事業の提案がされる。今年度の審査の際には、自己負担について盛んに質問がされていたが、それを募集要項にどう載せればよいか。納税者としてという池内委員の意見も分かるが、非常に難しいと思う。記載する場合は、そこがポイントである。ただ、委員の総意で決めるため、載せようということであれば検討する。

提案事業の審査をする際に、自己負担があるか質問することは必要だろうと思う。全額補助の提案が多いが、自己負担では足りない分に地域活動支援事業を使うというのが趣旨だと思う。

他区の募集要項には自己負担について書いてあるか、事務局に尋ねる。

**【榎島係長】**

他区全部の募集要項を確認しているわけではないので、答えかねる。

**【横尾委員】**

「ペットボトル飲料50本分」というのは、実際の災害時なら避難した方へ市が配布するものかと思う。自分で持って避難すればよいのだが。

**【池内委員】**

スタッフ飲料と書いてある。スタッフ用の飲料だろう。

**【山口会長】**

これは完了報告である。提案の際に話し合うべきことであるため、今ここで言ってもどうにもならない。平成29年度の審査の際に、よく精査するべきである。自己負担の事例のひとつとして話すのであればよいが、今話し合うべきことではない。

**【横尾委員】**

スタッフも含めた参加者全員が飲んだのであればよいが、名前が「スタッフ飲料」となっているのは問題である。

**【池内委員】**

私はこの事例だけではなく、全体の話をしている。

**【横尾委員】**

時と場合によってはそういうこともある。

**【池内委員】**

今回初めて審査をしたが、提案内容を聞き、「税金でこんなことまでやるのか」と驚いた。

**【榎島係長】**

作業に伴い水分補給を必要とする場合のお茶代は補助対象にするが、会議でのお茶代は健康管理上特に必要ないため対象にしないことが、市全体の基本的な決まりである。それが、募集要項1ページ目下「支援内容」③のただし書きである。

**【池内委員】**

私はそんな細かい話をしているのではなく、あまりにも各団体が補助金に頼りすぎているのではないかという話である。年間の計画の全てを補助金で賄おうというのは、不公平ではないかと思った。

**【山口会長】**



市としては、各区、各地域が元気になるように、あるいは活性化するように、今年度は1億8千万円の予算をつけ、三郷区には人口割と均等割で490万円が配分され、採択した方々に有効利用してもらっている。納税者公平という問題になると、この場で答えることはできない。今は募集要項の話なので、理解してもらいたい。

①No.1の意見について、改正案に反映するかどうか決を取る。

【二野委員】

お茶代のことか。

【山口会長】

違う。少額でも自己負担が必要だということを募集要項の中に入れるかどうかである。

【二野委員】

どれくらい自己負担をするのかを明確にする必要がある。

【山口会長】

何を自己負担するのかが問題になる。池内委員の意見では、あまりにも使いすぎだからということである。

【二野委員】

池内委員の意見も分からないことはないが、自己負担は1割負担なのか、2割負担なのか、それをきちんと決める必要がある。

【山口会長】

①No.1の意見について、改正案に反映するべきという委員の挙手を求めるが、なし。

これはひとつの意見として、来年度の支援事業の審査の参考にしてほしい。池内委員、それでよいか。

【池内委員】

それでよい。

【山口会長】

①No.1の意見は改正案に入れなくてよいか委員に諮り、全員の了承を得る。

次に、①No.2の意見に入る。

【二野委員】

募集要項の採択方針の内容について意見を出した。今年度の提案事業を見ると、三郷小学校関係の事業に偏っている。募集の際には、町内会長連絡協議会で、対象となる事業について、過去の事例を含めて説明する機会を設けた方がよいのではないかと思う。

私も、町内会長になった年に、「こういうことがありますよ」とたまたま聞いた。それ

までは、勉強不足かもしれないが何も知らなかった。だから町内会長連絡協議会できちんと説明し、町内会長が各町内に持ち帰り、町内の意見を集約できるようにした方がよいのではないか。

【山口会長】

町内会長の総会が1月にあり、そこで説明をする場は設けている。

【二野委員】

皆さんよく理解できていないと思う。せいぜい5分くらいの説明だったと思う。

【山口会長】

本来は各町内へ行って説明できればよい。各町内の地域協議会委員から、町内の会議の際にPRしてもらえばありがたい。町内会長全体には、昨年度実施した事業について資料を用意して説明したが、理解できていないのであれば、改めて詳しくやる必要があると思っている。

「募集内容を拡大」とは、具体的にどうするのか。現在の採択方針は相当拡大してある。

【二野委員】

採択方針の「地域活性化に資する事業」の中に、「農業後継者を育成確保する事業」とあるが、漠然としている。

【山口会長】

それについては次回の協議になると思う。

【二野委員】

また、「路線バスの利用促進に向けた事業」も、実際どんなことができるのか。

【山口会長】

それは次回の協議になる。募集内容の拡大というのはどういうことか。

【二野委員】

私の町内では夏祭りをやっており、その中でお神輿には市の助成金があるが、そういったことにも使えるのか。

【山口会長】

募集要項の拡大や、募集内容が漠然としていることについて、採決を取って反映させるか決めたいと思うが、どうか。

【二野委員】

基本的には地域の活性化を目的としているが、市としてはどこまでを考えているのか。

【山口会長】

採択方針は、ある程度漠然とした表現がよい。例えばLEDがよい、あるいはカーブミラーがよいなると、それ以外は提案できなくなると思う。

【二野委員】

LEDには他にも市の補助金がある。

【山口会長】

「安全・安心な地域づくりに資する事業」に全て含めればよい。過去に採択方針について話し合った中では、漠然とした表現にならざるを得ないという結論になった。提案された事業については、事務局がふるいにかけての上で、私どもでよいかどうかを審査しなくてははいけない。

【二野委員】

三郷区の採択方針の中でこれだけ網羅されているため、この中のどれに当てはまるのかを考えるしかないと思う。

【山口会長】

次回、審査採択の中でも意見を聞く。

【佐藤委員】

私が1期目の委員を務めた際には、町内でも何ができるのか検討し、まちづくりセンターに確認したが、対象外だと言われた経緯がある。そのため、町内では、「何をしたいのか分からない、もういい」となってしまった。

最初は地域活動支援事業をどんなことに使っているのか判断がつかなかったため、とりあえず防犯灯のLEDへの交換を各町内で進めることになった。そこで町内単位で進めたことで、先に終わる町内と、後に残る町内が出てしまったため、それはおかしいと思った。一度に全部やっしまえばよいと思った。

どういうことができるのか基準が明確にないため、町内会で話してもそれはダメだよとなり何のための制度なのか疑問を感じた。地域協議会で議論していることを、町内の皆さんはほとんど知らないから、「できることがあったら頼むね」という感覚でしかない。

【山口会長】

地域活動支援事業の事例集が手元にあると思う。それを参考にしてほしい。

また、採択方針に書いてあることを基にして事業を検討されると思うが、町内会ごとの検討にならざるを得ないと思う。全体でやるものがあれば、今後出てくるだろう。

【横尾委員】

敢えて書き直す必要はないと思う。ある程度限定してしまうと、提案者の発想を縛ることになる。個々の提案については、センターと協議することでよいのではないか。

【山口会長】

①No.2の意見は改正案に反映しないことでよいか諮り、委員全員の下承を得る。  
次に、①No.3の意見に入る。

【山田委員】

私の町内には掲示板がなかったため、一昨年、私が町内会の役員を務めていた際に、地域活動支援事業に提案しようとしたが、総会の際に「町内のお金で作ればよい」ということになった。その後、もう一度話をしたがだめだった。町内のごみ集積所にある小さなプレハブ2棟にガムテープで掲示しているのだが、それで十分ではないかとなった。  
タイトルがこれだと堅苦しいと思い、変えた方が親しみを感じてもらえてよいのではないかと思った。

【山口会長】

募集要項の表題の頭に「みんな一緒に」を付け加えるということではよいか。

【山田委員】

その方が親しみやすいと考えた。

【山口会長】

「私たち」のところに「みんな一緒に」を付け加える、文言の入れ替えである。

【尾崎委員】

文言も確かに大事だが、私も委員になるまでは全く関心がなくて中身を見たことがなかった。例えば平成28年度の事業の事例をどこかに入れれば、皆さんがもう少し関心を持ってくれるのかなと思う。どう周知をして、関心を持ってもらうかが大切だと思う。

【山口会長】

三郷区地域協議会だよりを間もなく発行する予定であるが、その中に活動報告が書いてある。地域協議会だよりは回覧か。

【小林主事】

全世帯配布である。

【山口会長】

是非これを見て欲しい。

【尾崎委員】

1日と15日の上越市の広報と一緒に配られると思うが、中に折り込まれるのか、別

粹なのか。

【小林主事】

折り込まれて全戸に配布されると思う。

【尾崎委員】

多分見ないだろう。

【山口会長】

この中に地域活動支援事業の活動報告が書いてあるということを、各委員は再認識して見てほしい。

【保坂真由美委員】

見たことはあるが、細かい内容ではなく羅列されたようなものだったと思う。

【山口会長】

このようなものを配布していることを、ぜひPRしてほしい。

【保坂真由美委員】

子どもたちがいる家庭では、関心があって皆さん見ているが、それより上の年代には関心がない。

【山口会長】

有線放送で話をするのもよいのだろうが、13件あるのを全てはできない。だから、紙面での報告になると思う。市のホームページからダウンロードもできると思うが。

【小林主事】

地域協議会だよりは市のホームページにも掲載しており、ダウンロード、印刷が可能である。

【山口会長】

努力はしている。11月1日に発行されるので、見てほしい。

【保坂真由美委員】

11月1日発行なら、まだ見ていない。

【尾崎委員】

毎月1日は議会だよりや社協だよりなど配布物が多い。

【山口会長】

そうすると15日発行の方がよいか。

【尾崎委員】

いろいろな折り込みがない号の方が、少しは見てもらえると思う。

【池内委員】

それは年に2回くらい発行されるのか。

【山口会長】

年何回発行か。

【小林主事】

昨年度は年4回発行した。

【池内委員】

委員になって初めて読んだ。それまでは、1回も見たことがなかった。

【山口会長】

発行を始めて10年になる。是非、認識してほしい。

【池内委員】

「こういうのがあるんだな」と思い、読ませてもらった。

【山口会長】

協議会の様子も書かれている。今度は各委員の感想文を載せてもらうつもりなので、是非ご意見等を書いてほしい。

①No.3の意見についてはどうするか。

【二野委員】

「三郷地域」とした方がよいのではないかと。「地域」しか書いていないと、「これほどこの地域かな」と見ない方もいるのではないかと。

【山口会長】

「私たちの地域をもっとよくする」を「三郷の地域をもっとよくする」に変えるということか。

【二野委員】

「私たち」は入れても構わない。

【尾崎委員】

「私たちの三郷地域をもっとよくする」ということか。

【山口会長】

「私たちの」の後に「三郷地域」を入れるということか。

【二野委員】

そのとおり。

【尾崎委員】

山田委員の案とは変わるが、「私たちの」の後に「三郷地域」を入れるか、そのままにするか。

【山口会長】

「私たちの」の後に「三郷」を入れるのは可能か。

【小林主事】

修正は可能である。

【山口会長】

「私たちの地域をもっとよくする『まちづくり活動』の提案を募集します！」を「私たちの三郷地域をもっとよくする『まちづくり活動』の提案を募集します！」に改正することに賛成の方は挙手を求め委員全員の了承を得る。

次に、②No.1の意見について、伊藤委員に説明を求める。

【伊藤委員】

委員になる以前から地域活動支援事業自体は知っていたが、何ができるのかまでは分からず、知っている人に聞いてある程度分かった。地域の方は何ができるのかほぼ知らないと思うため、様々な団体の方を集めて説明する場を設けるべきである。周知すれば、事業提案が出てくると思う。

【山口会長】

別途周知の場を設け、募集要項には反映しないことでよいか諮り、委員全員の了承を得る。

【保坂副会長】

例えば、3月に三郷区地域協議会の活動報告会を開催する場合、各委員が積極的に団体の代表に参加を呼びかけるべきである。私たち自身も周知を行うべきであると感じた。

【山口会長】

地域活動支援事業の説明会は、毎年度末に行っているが、参加者が少ない。そのため、各委員は自ら周知することを今から心掛けてほしい。必要な時になれば、改めて私から願います。

②No.2の意見については、先ほど議論したとおり、近くなったら改めて議論すること  
でよいか。

【二野委員】

それでよい。

【山口会長】

③の意見と理由については、資料にあるとおりでよいか諮り、委員全員の了承を得る。

③No.2の意見については、レクリエーションを除いてしまうと、三郷区においては事業の提案がなくなってしまうと思う。その点を理解してほしい。三郷区の活性化のための活動の支援が趣旨であるため、レクリエーション的な活動もあるかと思うが、理解を。

【池内委員】

改選前の委員からは、何回も追加募集をするという話を聞いた。今年度はこれだけ提案が出てきて予算をオーバーしたので、よいことだと思う。

【山口会長】

毎年予算をオーバーするような、積極的に活動している区もある。

レクリエーションも多いただろうが、事例集を見ると公園整備や、諏訪の里づくり協議会では二貫寺の森に関する事業を行っている。今後、三郷でもそういう活動を、町内会長と話す中で出てくると思う。

【池内委員】

二貫寺の森の活動は、必ず専門家がついて植物、動物を全部説明されているので、レクリエーションとは違うと思う。

【山口会長】

地域を元気にする活動をする中で、たまたまレクリエーションが多くなるだけだろう。

【池内委員】

専門家がレクチャーするなど、役に立つようなものがほしい。

【山口会長】

委員が提案者になってもよい。是非池内委員から、そういった内容の事業を提案してほしい。期待している

③No.3の意見について、資料にあるとおりでよいか。

【二野委員】

よい。

私の職場は子安新田にあり、新道区の採択内容を見る機会があったが、学校関係はほとんどなく町内会活動など地域に関係する事業が多い。また、レクリエーションはほとんどない。また提案される事業が多くいつも減額をしている。三郷もそうなればよいと思う。

【山口会長】

是非そうなって欲しい。



【二野委員】

周知を徹底すべきと思う。

【山口会長】

今年度二野委員が提案した、グリーンラインを引く交通安全の事業もよいと思う。最近、横浜でも事故があった。

事業の提案はなかなか出てこない。先ほど伊藤委員からは周知をすべきとの意見があったが、佐藤委員の意見のように「駄目だから、もういい」というような雰囲気もある。

地域協議会委員が提案者になってもよいため、平成29年度には積極的な事業提案をお願いしたい。

【保坂副会長】

高田区地域協議会委員の方から、高田区では学校関係の事業提案がないと聞いた。地域の中に学校が複数あると、採択される学校とされない学校が出てきてしまうため、話し合いの結果、学校関係の支援は行わなくなったとのことである。

三郷区は小学校がひとつであるため、やれる範囲のことをやってあげようという地域の温かみもあって、他に事業提案が出てこないこともあり、採択できるというのもあるだろう。そういった状況もあり、子どもたちのための事業が多くなっている。

ただ、知恵を絞れば、他にも事業提案がたくさん出て来ると思う。

—次第5 事務連絡—

【山口会長】

事務局に事務連絡を求める。

【佐藤センター長】

自主的審議の進め方について、今回はこれまで全体で話し合ってきたことであるため、全員の了解を得てからの提案となったが、自主的審議を希望する委員は、個人の判断で提案ができる。協議会にかけてから、事務局へ提出する必要はない。

【山口会長】

直接提案してよい、ということでしょうか。

【佐藤センター長】

そのとおり。

【山口会長】

提案があれば積極的に出して欲しい。その際は、私にも連絡いただければありがたい。

【佐藤センター長】

- ・今後の日程：三郷地区町内会長連絡協議会との意見交換会

11月4日（金）午後7時から 三郷地区公民館 集会室

\*次回以降の協議会の日程は後日連絡

- ・三郷区地域協議会だより11月1日号発行予定

【山口会長】

協議会だよりについては、今後は1日ではなく15日発行とするよう検討願う。

事務連絡について質疑を求める。

【尾崎委員】

地域活動支援事業の周知は委員が積極的に行ってほしいと話があったが、配布用の資料を要望すれば、必要部数をもらえるか。

【山口会長】

事務局に説明を求める。

【榎島係長】

地域活動支援事業の周知という目的でよいか。

【尾崎委員】

そのとおり。

【榎島係長】

必要なものはこちらで用意する。なるべく早めに連絡を。

【山口会長】

年末は忙しいため、今からでも早めにお話しいただきたい。他の委員も心得てほしい。そして、個々に平成29年度のPRをお願いする。

他に質疑を求めるがなし。

- ・会議の閉会を宣言。

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 南部まちづくりセンター

TEL：025-522-8831

E-mail：nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。